

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本シャッター株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		事業所内に経営方針を提示して、事業運営会議にて所内での共有を図り、安全・安心な職場環境の促進を実践している。									8	9							17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		事業所内に倫理規定を提示して、事業運営会議及び社員との個別ミーティングなどを通じて所内での共有を図り、非差別的なサービス提供の促進を実践している。																16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争防止マニュアルを作成し、年4回の勉強会を社内で行い、お客様に対する商品説明の徹底や他社の信用を損なわせる行為の禁止などを社員に周知している。											10					16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		工事部長を担当として置き、責任者である社長は担当から報告を受けながら把握し、状況に応じた対策を担当に指示し、工事が主となり対応に当たる体制を取っている。																16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		事業運営会議において、知的財産に関する学習の時間を設け、知的財産の保護を社員に周知し、取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		年4回の勉強会および事業運営会議において、個人情報の取扱いについて社員に周知し、内部規定である個人情報取扱い規則に基づき、適切な情報管理に取り組んでいる。																16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者: 消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先とのコミュニケーションを重視し、商品の性質や取扱いの説明、業界のトレンドなどの情報提供や取引先の現状の把握など、常に連携を取りやすい環境の創出に取り組んでいる。															16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		事業パートナーの活動について理解を深め、コミュニケーションを重ね、互いのCO2排出対策や人権侵害防止などの取り組み状況の確認活動を行うことで、自然環境や社会問題に対しての問題意識の共有に取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9			11				13.1	16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		労働基準法や男女雇用機会均等法を初め、関係法令について勉強会を行い、法令遵守の意識を社員に周知し、差別やハラスメントを行わないよう取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8			10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		事業所内は整理整頓に努め、資料などを保管するキャビネットには転倒防止の突っ張り棒を設置するなど、労働中の事故防止や災害時の被害軽減のための安全な労働環境の整備を行っている。				3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金のガイドラインを理解した上で給与規定を策定し、性別・障害・人種・信条・社会的地位等における差別的取扱いが生じない公正な待遇を実施している。					5.5				8.5				10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		就業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮・ノー残業デーの設定など働き方改革に取り組むことでワークライフバランスを推進している。				3		5.5			8.5 8.8				10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員の能力・人間力の向上を目的に、業務に関すること及び倫理に関することの会議や勉強会は適宜実施しており、いずれも勤務時間内で実施している。					4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		会社の福利厚生として定期的な健康診断を実施し、朝礼において作業中の事故に対する注意喚起を徹底している。また、お昼寝タイムの導入を実施して社員の健康の維持と生産性の向上に取り組んでいる。				3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		事業の実施において、年齢や障がいの有無、性別などによる差別を行っていない。				4.4	5.1 5.5				8.5					10.2 10.3					16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		打ち合わせなどにはZOOM等を活用し、直に対面する機会を極小化している。				3					8	9.1				11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1				11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9				12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 熊本シャッター株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		事業から生じた廃棄物においては、処理業者に委託することにより適切な管理と処理に取り組んでおり、効率的な施工法を駆使することで廃棄物の排出量の削減にも取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		燃料・電気の使用量を簡易計算シートで算出し把握している。事務所内の照明器具をLEDに付け替え消費電力の削減に取り組んでいる。事業用車は低燃費車を使用し、ガソリン使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		CO2排出量を簡易計算シートで算出し把握している。照明器具はLEDを使用し、こまめに消灯している。また、事業用に使用する車は低燃費車にしており、エコドライブを実践してCO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		会議や朝礼などを通して社員の環境意識を高め、事業の活動において、海洋汚染など地球環境悪化につながるプラスチック製品などの使用削減に努め、取り扱う製品も環境に影響の少ないタイプの販売に力を入れている。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		文書は不必要にプリントアウトせず、可能な限り電子ファイルでの処理に努め、ペーパーレス化を推進している。裏紙の利用も促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		管理者も使用者も、毎月の使用料を把握することで節水意識を高め、節水キャップの使用や、細目な止水により使用量の削減に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		プリンターのインクやコピー用紙など事務的消耗品においては、積極的にリサイクル製品の購入に努めている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所にグリーンカーテンを施したり、ベランダなど空きスペースを利用して菜園に取り組むなど、自然環境に配慮した運営を実践している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		極力、プラスチック製の製品の購入を控えている。マイバッグを持ち歩くなどプラスチックの使用削減に努めており、購入する際も植物由来の生分解性プラスチック製品を選択するように取り組んでいる。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17	

